

令和4年度

西海市公営企業会計  
決算審査意見書

西海市監査委員





5 西海監第16号  
令和5年8月18日

西海市長 杉澤 泰彦 様

西海市監査委員  
西海市監査委員

井田 利定  
杉山 誠治



令和4年度西海市公営企業会計決算の審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された下記公営企業会計決算の審査を行ったので、その意見書を送付します。

記

1. 令和4年度西海市水道事業会計決算
2. 令和4年度西海市工業用水道事業会計決算
3. 令和4年度西海市下水道事業会計決算

## 目 次

	ページ
第1 審査の対象	1
第2 審査の期間	1
第3 審査の方法	1
第4 審査の結果	1

### 水道事業会計

1. 業務実績について	2
2. 予算執行の状況について	3
3. 経営成績について	5
4. 財政状態について	9
5. むすび	11

### 工業用水道事業会計

1. 業務実績について	12
2. 予算執行の状況について	13
3. 経営成績について	15
4. 財政状態について	19
5. むすび	21

### 下水道事業会計

1. 業務実績について	22
2. 予算執行の状況について	23
3. 経営成績について	25
4. 財政状態について	29
5. むすび	31

※この決算審査意見書中の構成比率の数値は、四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合がある。

## 令和4年度西海市公営企業会計決算審査意見書

### 第1 審査の対象

令和4年度西海市水道事業会計決算  
令和4年度西海市工業用水道事業会計決算  
令和4年度西海市下水道事業会計決算

### 第2 審査の期間

令和5年7月18日～8月18日まで

### 第3 審査の方法

送付を受けた決算書類について、帳簿、証拠書類を照合し、関係書類の収集、関係職員に対する質問等、通常実施すべき審査手続きにより実施した。

### 第4 審査の結果

決算書、財務諸表及びその他の書類は、地方公営企業関係法令に準拠して作成され、計数は関係諸帳簿と符合して正確であり、令和4年度における経営成績及び当該年度末の財政状態は適正に表示されていると認めた。

審査の概要及び意見は、次に述べるとおりである。



# 水道事業会計





## 1. 業務実績について

給水状況は次表のとおりである。

### 給水状況

区 分	単 位	4 年 度 ①	3 年 度 ②	増 減 ①-②=③	増 減 率 (%) ③/②
給 水 人 口	人	25,143	25,669	△ 526	△ 2.05
給 水 戸 数	戸	12,148	12,224	△ 76	△ 0.62
配 水 量	m <sup>3</sup>	3,970,750	4,042,725	△ 71,975	△ 1.78
有 収 水 量	m <sup>3</sup>	2,728,508	2,731,202	△ 2,694	△ 0.10
有 収 率	%	68.72	67.56	1.16	1.71
1 日 平 均 配 水 量	m <sup>3</sup>	10,879	11,076	△ 197	△ 1.78

給水人口は前年度と比較して 526 人 (2.05%) 減少し、給水戸数は 76 戸 (0.62%) の減少となっている。

給配水の状況は、配水量が前年度比 71,975 m<sup>3</sup> (1.78%) の減少、有収水量が 2,694 m<sup>3</sup> (0.10%) の減少となっている。

平均有収率は 68.72% で前年度比 1.71 ポイントの増加となっている。

## 2. 予算執行の状況について

予算の執行状況は、次表のとおりである。

### (1) 収益的収入・支出

収益的収入・支出

(単位：円・% 消費税込)

区 分	予算額 ①	決算額 ②	増減 ②-①	執行率 ②/①
水道事業収益	895,033,000	945,143,214	50,110,214	105.6
営業収益	731,035,000	746,931,974	15,896,974	102.2
営業外収益	163,994,000	198,211,240	34,217,240	120.9
特別利益	4,000	0	△ 4,000	0.0

区 分	予算額 ①	決算額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
水道事業費用	1,027,153,000	963,009,414	0	64,143,586	93.8
営業費用	923,212,000	868,375,285	0	54,836,715	94.1
営業外費用	98,936,000	94,495,048	0	4,440,952	95.5
特別損失	505,000	139,081	0	365,919	27.5
予備費	4,500,000	0	0	4,500,000	0.0

### (2) 給水収益及び未収金の状況

(単位：円・%)

区分		4年度				
		調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
現年度分	金 額	715,955,889	707,369,145	0	8,586,744	98.8
過年度分	金 額	22,697,810	14,105,757	40,075	8,551,978	62.1
合 計	金 額	738,653,699	721,474,902	40,075	17,138,722	97.7

※上水道課より提供。

給水収益の収入未済額は、現年度分 8,586,744 円、過年度分が 8,551,978 円で計 17,138,722 円となっている。

### (3) 資本的収入・支出

#### 資本的収入・支出

(単位：円・% 消費税込)

区 分	予算額 ①	決算額 ②	増減 ②-①	執行率 ②/①
資本的収入	730,191,000	505,889,400	△ 224,301,600	69.3
企業債	550,200,000	325,900,000	△ 224,300,000	59.2
負担金	2,271,000	2,270,400	△ 600	100.0
固定資産売却代金	1,000	0	△ 1,000	0.0
他会計補助金	177,719,000	177,719,000	0	100.0

区 分	予算額 ①	決算額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
資本的支出	1,137,321,000	831,562,257	256,125,000	49,633,743	73.1
建設改良費	798,054,000	498,301,607	256,125,000	43,627,393	62.4
企業債償還金	333,266,000	333,260,650	0	5,350	100.0
予備費	6,000,000	0	0	6,000,000	0.0
その他資本的支出	1,000	0	0	1,000	0.0

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 325,672,857 円は、過年度分損益勘定留保資金 282,263,523 円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 43,409,334 円で補填されている。

建設改良費の主な事業は、次のとおりである。

- ・ 西海七釜配水池更新工事 37,700,000 円
- ・ 大瀬戸西浜地区配水管布設替工事 32,909,800 円
- ・ 西彼町内水道施設監視装置更新工事 28,075,300 円
- ・ 旧大瀬戸第2配水池解体工事（水道施設） 18,136,800 円
- ・ 西海水浦（東部）地区配水管布設替工事 13,473,900 円

### 3. 経営成績について

令和4年度の経営状況は、総収益（水道事業収益）879,859,142円、総費用（水道事業費用）921,508,365円で、当年度純損失は、41,649,223円となっている。

#### (1) 収益

総収益（水道事業収益）は次表のとおりである。

(単位：円・% 消費税抜)

区 分	4年度		3年度		前年度比較		
	金額 ①	構成 比率	金額 ②	構成 比率	増 減 ①-②=③	増減率 ③/②	
営業 収益	給水収益	651,003,791	74.0	633,486,484	70.9	17,517,307	2.8
	その他の営業収益	30,644,266	3.5	6,055,805	0.7	24,588,461	406.0
	簡易水道収益	0	0.0	16,082,251	1.8	△ 16,082,251	△ 100.0
	小 計	681,648,057	77.5	655,624,540	73.4	26,023,517	4.0
営業外収益	198,211,085	22.5	237,690,765	26.6	△ 39,479,680	△ 16.6	
特別利益	0	0.0	112,542	0.0	△ 112,542	△ 100.0	
総 収 益	879,859,142	100.0	893,427,847	100.0	△ 13,568,705	△ 1.5	

営業収益は、前年度と比較し26,023,517円（4.0%）の増収となっている。

営業外収益は、前年度と比較して39,479,680円（16.6%）の減収となっている。

(2) 費用

総費用（水道事業費用）は次表のとおりである。

(単位：円・% 消費税抜)

区 分	4年度		3年度		前年度比較		
	金 額 ①	構 成 比 率	金 額 ②	構 成 比 率	増 減 ①-②=③	増減率 ③/②	
営 業 費 用	人件費	115,208,558	12.5	107,248,239	11.5	7,960,319	7.4
	委託料	109,626,014	11.9	115,556,517	12.4	△ 5,930,503	△ 5.1
	修繕費	55,441,801	6.0	62,716,345	6.7	△ 7,274,544	△ 11.6
	動力費	82,809,339	9.0	70,199,304	7.5	12,610,035	18.0
	薬品費	7,093,609	0.8	6,217,840	0.7	875,769	14.1
	材料費	11,483,013	1.2	11,164,946	1.2	318,067	2.9
	補償金	0	0.0	0	0.0	0	-
	負担金	282,340	0.0	310,620	0.0	△ 28,280	△ 9.1
	減価償却費	407,926,071	44.3	427,775,870	45.7	△ 19,849,799	△ 4.6
	資産減耗費	12,873,572	1.4	10,016,084	1.1	2,857,488	28.5
	その他	35,501,106	3.9	40,498,149	4.3	△ 4,997,043	△ 12.3
	小 計	838,245,423	91.0	851,703,914	91.0	△ 13,458,491	△ 1.6
営 業 外 費 用	支払利息	63,316,737	6.9	67,480,449	7.2	△ 4,163,712	△ 6.2
	その他	19,819,768	2.2	16,722,698	1.8	3,097,070	18.5
	小 計	83,136,505	9.0	84,203,147	9.0	△ 1,066,642	△ 1.3
特 別 損 失	126,437	0.0	106,028	0.0	20,409	19.3	
予 備 費	0	0.0	0	0.0	0	-	
総 費 用	921,508,365	100.0	936,013,089	100.0	△ 14,504,724	△ 1.6	

営業費用は、前年度と比較し 13,458,491 円（1.6%）の減少となっている。

営業外費用においては支払利息が主な支出であり、前年度と比較して 1,066,642 円（1.3%）の減少となっている。

### (3) 損益

損益の状況は次表のとおりである。

#### 損益

(単位：円・% 消費税抜)

区 分		4年度 ①	3年度 ②	増減 ①-②=③	増減率 ③/②
経常 損益の 部	収益	681,648,057	655,624,540	26,023,517	4.0
	営業損益				
	費用	838,245,423	851,703,914	△ 13,458,491	△ 1.6
	営業利益	△ 156,597,366	△ 196,079,374	39,482,008	20.1
	収益	198,211,085	237,690,765	△ 39,479,680	△ 16.6
	営業外損益				
費用	83,136,505	84,203,147	△ 1,066,642	△ 1.3	
営業外利益	115,074,580	153,487,618	△ 38,413,038	△ 25.0	
経常利益		△ 41,522,786	△ 42,591,756	1,068,970	2.5
特別損益の部	利益	0	112,542	△ 112,542	△ 100.0
	損失	126,437	106,028	20,409	19.2
	特別利益	△ 126,437	6,514	△ 132,951	△ 2,041.0
当年度純利益		△ 41,649,223	△ 42,585,242	936,019	2.2
前年度繰越利益剰余金		△ 482,709,120	△ 440,123,878	△ 42,585,242	△ 9.7
その他処分利益剰余金変動額		0	0	0	-
当年度未処分利益剰余金		△ 524,358,343	△ 482,709,120	△ 41,649,223	△ 8.6

経常損益のうち営業利益は△156,597,366円で、前年度と比較し39,482,008円(20.1%)の増益となり、営業外利益は115,074,580円で、前年度と比較し38,413,038円(25.0%)の減益となっている。この結果、経常利益は△41,522,786円となっている。

また、当年度純利益は、△41,649,223円で、前年度繰越利益剰余金△482,709,120円と合わせ、当年度未処分利益剰余金は△524,358,343円となっている。

#### (4) 経営分析

経営分析の結果は次表のとおりである。

区 分	4 年 度	3 年 度	備 考
総収支比率	95.48	95.45	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$
経常収支比率	95.49	95.45	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$
営業収支比率	81.32	76.98	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$

※ これらの比率は、いずれも100%を上回るほど経営状態が良好であるとされている。

収益と費用の総体的な関連を示す「総収支比率」は 95.48%（前年度比 0.03 ポイント増）、経常的な収益と費用の関連を示す「経常収支比率」は 95.49%（前年度比 0.04 ポイント増）、事業の収益性を示す「営業収支比率」は 81.32%（前年度比 4.34 ポイント増）となっている。

#### 4. 財政状態について

財政状態は次表のとおりである。

##### 財政状態

(単位：円・%)

区 分	4年度		3年度		前年度比較		
	金 額 ①	構 成 比 率	金 額 ②	構 成 比 率	増 減 ①-②=③	増減率 ③/②	
固定資産	有形固定資産	7,698,771,303	84.5	7,664,276,036	84.3	34,495,267	0.5
	無形固定資産	14,149,532	0.2	14,552,169	0.2	△ 402,637	△ 2.8
	計	7,712,920,835	84.7	7,678,828,205	84.4	34,092,630	0.4
流動資産		1,396,757,544	15.3	1,417,274,538	15.6	△ 20,516,994	△ 1.4
資産合計		9,109,678,379	100.0	9,096,102,743	100.0	13,575,636	0.1
負債	固定負債	4,673,873,495	51.3	4,673,377,794	51.4	495,701	0.0
	流動負債	415,921,224	4.6	477,908,057	5.3	△ 61,986,833	△ 13.0
	繰延収益	2,441,348,959	26.8	1,630,155,056	17.9	811,193,903	49.8
負債合計		7,531,143,678	82.7	6,781,440,907	74.6	749,702,771	11.1
資本金		1,872,359,342	20.6	2,566,837,254	28.2	△ 694,477,912	△ 27.1
剰余金	資本剰余金	106,897,392	1.2	106,897,392	1.2	0	0.0
	利益剰余金	△ 400,722,033	△ 4.4	△ 359,072,810	△ 3.9	△ 41,649,223	△ 11.6
	計	△ 293,824,641	△ 3.2	△ 252,175,418	△ 2.8	△ 41,649,223	△ 16.5
資本合計		1,578,534,701	17.3	2,314,661,836	25.4	△ 736,127,135	△ 31.8
負債・資本合計		9,109,678,379	100.0	9,096,102,743	100.0	13,575,636	0.1

##### (1) 資産

「固定資産」は前年度に比べ 34,092,630 円 (0.4%) 増加している。これは主に、有形固定資産の増によるものである。

「流動資産」は前年度に比べ 20,516,994 円 (1.4%) 減少している。



## (2) 負債及び資本

### 負債

「固定負債」が前年度に比べ 495,701 円 (0.01%) 増加している。また、「流動負債」は前年度に比べ 61,986,833 円 (13.0%) 減少している。「繰延収益」は前年度に比べ 811,193,903 円 (49.8%) 増加している。これらにより、負債合計が前年度に比べ 749,702,771 円 (11.1%) 増加している。

### 資本

「資本金」は 1,872,359,342 で、前年度に比べ 694,477,912 円 (27.1%) 減少している。また、剰余金合計が△293,824,641 円、資本合計が 1,578,534,701 円となっている。

## 5. むすび

以上が、令和4年度西海市水道事業について審査した概要である。

本市の水道事業は、令和2年度より離島を含めた全ての簡易水道事業との統合が完了した。

経営成績については、営業利益が△156,597,366円、当年度純利益が△41,649,223円となった。

営業収益に対する固定資産減価償却費の割合が59.8%となっており、利益が出にくい財務体質となっている。

キャッシュフローは投資活動、財務活動を含めたところでマイナスになっているが、業務活動がプラスであるため企業経営上問題はないものの、引き続き施設の統廃合や、不要施設の除却等を進め、固定資産の圧縮を図ることが重要である。

また、経営改善には有収率の向上が不可欠であり、令和3年度の本市水道事業の有収率は67.56%で、令和4年度における有収率は1.16ポイント増加し68.72%となっている。統合整備事業と並行して、引き続き老朽管の更新や漏水防止対策などの施設の適正な維持管理を図ることにより有収率を高め、将来の経営を見通した健全な事業運営に努められたい。

今後さらに、老朽化対策や施設改修などのインフラ整備が見込まれる中、難しい事業運営が求められていると言える。

事業統合によるプラスの効果を最大限に高めつつ、長期的な視点に立って、資産の効率的な運用、財源確保に努め、市民生活に欠かすことの出来ない水の更なる安定供給を図られたい。

# 工業用水道事業会計



1. 業務実績について

給水状況は次表のとおりである。

区 分	単 位	4 年 度 ①	3 年 度 ②	増 減 ①-②=③	増 減 率 (%) ③/②
給水企業	社	1	1	0	0.00
配水量	m <sup>3</sup>	1,444,541	1,263,096	181,445	14.37
有収水量	m <sup>3</sup>	1,442,645	1,249,075	193,570	15.50
有収率	%	99.87	98.89	0.98	0.99
1日平均配水量	m <sup>3</sup>	3,958	3,461	497	14.36

給水企業は、電源開発株式会社松島火力発電所1社である。

給配水の状況は、配水量で前年度比 181,445 m<sup>3</sup> (14.37%) の増加、有収水量で 193,570 m<sup>3</sup> (15.50%) の増加となっている。また、1日平均配水量は前年度比 497 m<sup>3</sup> (14.36%) の増加となっている。

なお、有収水量は年間 1,442,645 m<sup>3</sup> で 99.87% の有収率となっている。

2. 予算執行の状況について

予算の執行状況は、次表のとおりである。

(1) 収益的収入・支出

(単位：円・% 消費税込)

区 分	予算額 ①	決算額 ②	増減 ②-①	執行率 ②/①
工業用水道事業収益	101,295,000	101,488,242	193,242	100.2
営業収益	84,316,000	84,315,000	△ 1,000	100.0
営業外収益	16,979,000	17,173,242	194,242	101.1

区 分	予算額 ①	決算額 ②	不用額 ①-②	執行率 ②/①
工業用水道事業費用	128,880,000	107,221,993	21,658,007	83.2
営業費用	120,659,000	102,581,436	18,077,564	85.0
営業外費用	6,220,000	4,640,557	1,579,443	74.6
特別損失	1,000	0	1,000	0.0
予備費	2,000,000	0	2,000,000	0.0

(2) 未収金の状況

当年度末未収金は 167,300 円となっている。

(3) 資本的収入・支出

(単位：円・% 消費税込)

区 分	予算額 ①	決算額 ②	増減 ②-①	執行率 ②/①
資本的収入	3,000	0	△ 3,000	0.0
企業債	1,000	0	△ 1,000	0.0
負担金	1,000	0	△ 1,000	0.0
固定資産売却代金	1,000	0	△ 1,000	0.0

区 分	予算額 ①	決算額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
資本的支出	33,381,000	21,139,489	0	12,241,511	63.3
建設改良費	21,402,000	11,160,600	0	10,241,400	52.2
企業債償還金	9,979,000	9,978,889	0	111	100.0
予備費	2,000,000	0	0	2,000,000	0.0

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 21,139,489 円は、過年度分損益勘定留保資金 20,124,889 円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,014,600 円で補填されている。

### 3. 経営成績について

令和4年度の経営状況は、総収益（工業用水道事業収益）93,823,927円、総費用（工業用水道事業費用）100,572,278円で当年度純利益△6,748,351円となっている。

#### (1) 収 益

総収益（工業用水道事業収益）は次表のとおりである。

(単位：円・% 消費税抜)

区 分		4年度		3年度		前年度比較	
		金 額 ①	構 成 比 率	金 額 ②	構 成 比 率	増 減 ①-②=③	増減率 ③/②
営業 収益	給水収益	76,650,000	81.7	76,650,000	81.7	0	0.0
	その他の営業収益	0	0.0	0	0.0	0	-
	小 計	76,650,000	81.7	76,650,000	81.7	0	0.0
営業外収益		17,173,927	18.3	17,136,142	18.3	37,785	0.2
特別利益		0	0.0	0	0.0	0	-
総 収 益		93,823,927	100.0	93,786,142	100.0	37,785	0.0

営業収益においては、給水収益は 5,000 m<sup>3</sup>/日の契約水量による水道使用料の収入で前年度と比較して同額となっている。



(2) 費用

総費用（工業用水道事業費用）は次表のとおりである。

(単位：円・% 消費税抜)

区 分	4年度		3年度		前年度比較		
	金 額 ①	構 成 比 率	金 額 ②	構 成 比 率	増 減 ①-②=③	増減率 ③/②	
営 業 費 用	人件費	3,515,606	3.5	9,113,326	9.2	△ 5,597,720	△ 61.4
	委託料	26,851,480	26.7	26,125,400	26.4	726,080	2.8
	修繕費	1,137,670	1.1	853,550	0.9	284,120	33.3
	動力費	22,915,308	22.8	16,294,735	16.5	6,620,573	40.6
	薬品費	1,720,643	1.7	1,745,849	1.8	△ 25,206	△ 1.4
	材料費	45,000	0.0	167,080	0.2	△ 122,080	△ 73.1
	補償金	0	0.0	0	0.0	0	-
	負担金	71,300	0.1	71,300	0.1	0	0.0
	減価償却費	40,150,105	39.9	40,152,943	40.6	△ 2,838	△ 0.0
	資産減耗費	0	0.0	0	0.0	0	-
	その他	836,909	0.8	821,903	0.8	15,006	1.8
小 計	97,244,021	96.7	95,346,086	96.4	1,897,935	2.0	
営 業 外 費 用	支払利息	3,328,257	3.3	3,521,347	3.6	△ 193,090	△ 5.5
	その他	0	0.0	0	0.0	0	-
	小 計	3,328,257	3.3	3,521,347	3.6	△ 193,090	△ 5.5
特 別 損 益	0	0.0	0	0.0	0	-	
予 備 費	0	0.0	0	0.0	0	-	
総 費 用	100,572,278	100.0	98,867,433	100.0	1,704,845	1.7	

営業費用においては、前年度と比較し 1,897,935 円（2.0%）の増加となっている。

営業外費用においては、前年度と比較し 193,090 円（5.5%）の減少となっている。

### (3) 損益

損益の状況は次表のとおりである。

(単位：円・% 消費税抜)

区 分		4年度 ①	3年度 ②	増減 ①-②=③	増減率 ③/②	
経常損益の部	営業損益	収益	76,650,000	76,650,000	0	0.0
		費用	97,244,021	95,346,086	1,897,935	2.0
		営業利益	△ 20,594,021	△ 18,696,086	△ 1,897,935	△ 10.2
	営業外損益	収益	17,173,927	17,136,142	37,785	0.2
		費用	3,328,257	3,521,347	△ 193,090	△ 5.5
		営業外利益	13,845,670	13,614,795	230,875	1.7
経常利益		△ 6,748,351	△ 5,081,291	△ 1,667,060	△ 32.8	
特別損益の部	利益	0	0	0	-	
	損失	0	0	0	-	
	特別利益	0	0	0	-	
当年度純利益		△ 6,748,351	△ 5,081,291	△ 1,667,060	△ 32.8	
前年度繰越利益剰余金		△ 39,645,653	△ 34,564,362	△ 5,081,291	△ 14.7	
当年度未処分利益剰余金		△ 46,394,004	△ 39,645,653	△ 6,748,351	△ 17.0	

経常損益のうち営業利益は△20,594,021円で、前年度と比較し1,897,935円(10.2%)の減益となり、営業外利益は13,845,670円で、前年度と比較し230,875円(1.7%)の増益となっている。この結果、経常利益は△6,748,351円となっている。

また、当年度純利益は、△6,748,351円で、前年度繰越利益剰余金△39,645,653円と合わせ、当年度未処分利益剰余金は△46,394,004円となっている。

#### (4) 経営分析

経営分析の結果は次表のとおりである。

区 分	4 年度	3 年度	備 考
総収支比率	93.29	94.86	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$
経常収支比率	93.29	94.86	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$
営業収支比率	78.82	80.39	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$

※ これらの比率は、いずれも100%を上回るほど経営状態が良好であるとされている。

収益と費用の総体的な関連を示す「総収支比率」は、93.29%（前年度比 1.57 ポイント減）、経常的な収益と費用の関連を示す「経常収支比率」は 93.29%（前年度比 1.57 ポイント減）、「営業収支比率」は 78.82%（1.57 ポイント減）で、いずれも前年度の数値を下回っている。

#### 4. 財政状態について

財政状態は次表のとおりである。

##### 財政状態

(単位：円・%)

区 分		4年度		3年度		前年度比較	
		金 額 ①	構 成 比 率	金 額 ②	構 成 比 率	増 減 ①-②=③	増減率 ③/②
固 定 資 産	有形固定資産	717,439,947	71.6	747,444,052	71.9	△ 30,004,105	△ 4.0
	無形固定資産	0	0.0	0	0.0	0	-
	計	717,439,947	71.6	747,444,052	71.9	△ 30,004,105	△ 4.0
流動資産		284,812,680	28.4	292,385,192	28.1	△ 7,572,512	△ 2.6
資産合計		1,002,252,627	100.0	1,039,829,244	100.0	△ 37,576,617	△ 3.6
負 債	固定負債	151,050,695	15.1	161,226,494	15.5	△ 10,175,799	△ 6.3
	流動負債	18,518,615	1.8	22,314,721	2.1	△ 3,796,106	△ 17.0
	繰延収益	391,112,936	39.0	407,969,297	39.2	△ 16,856,361	△ 4.1
	負債合計	560,682,246	55.9	591,510,512	56.9	△ 30,828,266	△ 5.2
資本金		386,724,380	38.6	386,724,380	37.2	0	0.0
剰 余 金	資本剰余金	39,726,385	4.0	39,726,385	3.8	0	0.0
	利益剰余金	15,119,616	1.5	21,867,967	2.1	△ 6,748,351	△ 30.9
	計	54,846,001	5.5	61,594,352	5.9	△ 6,748,351	△ 11.0
資本合計		441,570,381	44.1	448,318,732	43.1	△ 6,748,351	△ 1.5
負債・資本合計		1,002,252,627	100.0	1,039,829,244	100.0	△ 37,576,617	△ 3.6

##### (1) 資産

「固定資産」は、前年度と比較し 30,004,105 円 (4.0%) 減少している。また、「流動資産」は、前年度と比較し 7,572,512 円 (2.6%) 減少している。

(2) 負債及び資本

「固定負債」が、前年度に比べ 10,175,799 円 (6.3%) 減少している。

「資本金」は前年度と同額の 386,724,380 円で、剰余金合計が 54,846,001 円、資本合計が 441,570,381 円となっている。

## 5. むすび

以上が、令和4年度西海市工業用水道事業について審査した概要である。

水道使用料については、契約水量（日量 5,000 m<sup>3</sup>）のため安定した給水収益となっている。

有収率は前年度より 0.98 ポイント増加して 99.87%となっており、今後もさらなる適正な施設管理を期待する。

営業収益は 76,650,000 円で、前年度と同額となっている。

営業外収益を含めた総収益は 93,823,927 円で、前年度と比較して 37,785 円（0.04%）の増加となっている。

営業費用は 97,244,021 円で、前年度と比較して 1,897,935 円（2.0%）の増加となっている。

経営分析においては、総収支比率が 93.29%、経常収支比率が 93.29%、営業収支比率が 78.82%といずれも前年度の数値を下回っている。

また、当年度純利益△6,748,351 円となっている。

当面は経営上の大きな問題はないと言えるが、委託料や修繕費等の経常的な費用の増加は損益悪化の原因となるため、今後の更なるコスト削減の取り組みが必要となろう。

今後も引き続き計画的な施設の維持管理と運営に努められたい。

# 下水道事業会計





## 1. 業務実績について

処理状況は次表のとおりである。

処理状況

区 分	単 位	4 年 度 ①	3 年 度 ②	増 減 ①-②=③	増 減 率 (%) ③/②
処理区域内人口	人	25,620	26,146	△ 526	△ 2.01
水洗化人口	人	19,795	19,954	△ 159	△ 0.80
水洗化率	%	77.26	76.32	0.94	1.23
汚水処理水量	m <sup>3</sup>	1,218,420	1,251,611	△ 33,191	△ 2.65
有収水量	m <sup>3</sup>	1,218,420	1,251,611	△ 33,191	△ 2.65
有収率	%	100.00	100.00	0.00	0.00
1日平均処理量	m <sup>3</sup>	3,338	3,429	△ 91	△ 2.65

水洗化人口は 19,795 人で水洗化率は 77.26%となっている。

有収水量は 1,218,420 m<sup>3</sup>で有収率は 100%となっている。

1日平均処理量は 3,338 m<sup>3</sup>となっている。

## 2. 予算執行の状況について

予算の執行状況は、次表のとおりである。

### (1) 収益的収入・支出

収益的収入・支出

(単位：円・% 消費税込)

区 分	予算額 ①	決算額 ②	増減 ②-①	執行率 ②/①
下水道事業収益	1,149,530,000	1,173,865,476	24,335,476	102.1
営業収益	222,477,000	216,574,934	△ 5,902,066	97.3
営業外収益	927,053,000	957,290,542	30,237,542	103.3

区 分	予算額 ①	決算額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
下水道事業費用	1,194,642,000	1,128,861,535	0	65,780,465	94.5
営業費用	1,086,352,000	1,056,082,663	0	30,269,337	97.2
営業外費用	103,290,000	72,778,872	0	30,511,128	70.5
予備費	5,000,000	0	0	5,000,000	0.0

### (2) 下水道使用料及び未収金の状況

(単位：円・% 税込)

区分		4年度				
		調 定 額 ①	収入済額 ②	不納欠損額 ③	収入未済額 ④	収入率 ②/ (①-③)
現年度分	金 額	216,342,934	214,021,643	0	2,321,291	98.9
過年度分	金 額	3,672,155	3,172,320	7,500	492,335	86.6
合 計	金 額	220,015,089	217,193,963	7,500	2,813,626	98.7

※下水道課より提供。

下水道使用料の収入未済額は、現年度分 2,321,291 円、過年度分が 492,335 円で計 2,813,626 円となっている。

### (3) 資本的収入・支出

資本的収入・支出

(単位：円・% 消費税込)

区 分	予算額 ①	決算額 ②	増減 ②-①	執行率 ②/①
資本的収入	910,320,000	617,904,000	△ 292,416,000	67.9
企業債	518,700,000	242,200,000	△ 276,500,000	46.7
他会計出資金	269,912,000	269,912,000	0	100.0
補助金	115,508,000	99,892,000	△ 15,616,000	86.5
分担金	6,200,000	5,900,000	△ 300,000	95.2

区 分	予算額 ①	決算額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
資本的支出	1,152,237,000	821,286,614	260,000,000	70,950,386	71.3
建設改良費	654,692,000	323,744,397	260,000,000	70,947,603	49.4
企業債償還金	497,545,000	497,542,217	0	2,783	100.0

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 223,128,614 円（翌年度財源充当額 19,746,000 円を除く）は、繰越工事資金 1,984,000 円、過年度分損益勘定留保資金等 90,527,321 円、当年度分損益勘定留保資金 130,617,293 円で補填されている。

建設改良費の主な事業は、次のとおりである。

- ・ 真砂地域下水処理施設建設工事（土木） 138,521,200 円
- ・ 令和 4 年度瀬戸処理区管渠施設 50 工区工事 34,745,700 円
- ・ 令和 4 年度大串処理区管渠施設 75 工区工事 30,745,000 円
- ・ 令和 4 年度瀬戸処理区管渠施設 51 工区工事 19,900,000 円
- ・ 令和 4 年度大串処理区舗装復旧工事 19,492,000 円

### 3. 経営成績について

令和4年度の経営状況は、総収益（下水道事業収益）1,134,584,651円、総費用（下水道事業費用）1,109,759,464円で、当年度純利益は、24,825,187円となっている。

#### (1) 収 益

総収益（下水道事業収益）は次表のとおりである。

(単位：円・% 消費税抜)

区 分	4年度		3年度		前年度比較		
	金 額 ①	構 成 比 率	金 額 ②	構 成 比 率	増 減 ①-②=③	増減率 ③/②	
営業 収益	下水道使用料	196,675,393	17.3	199,894,135	16.0	△ 3,218,742	△ 1.6
	その他の営業収益	232,000	0.0	225,400	0.0	6,600	2.9
	小 計	196,907,393	17.4	200,119,535	16.0	△ 3,212,142	△ 1.6
営業外収益	937,677,258	82.6	1,044,909,066	83.4	△ 107,231,808	△ 10.3	
特別利益	0	0.0	7,970,464	0.6	△ 7,970,464	△ 100.0	
総 収 益	1,134,584,651	100.0	1,252,999,065	100.0	△ 118,414,414	△ 9.5	

営業収益は196,907,393円となっている。

営業外収益は937,677,258円となっている。

(2) 費用

総費用（下水道事業費用）は次表のとおりである。

(単位：円・% 消費税抜)

区 分	4年度		3年度		前年度比較		
	金額 ①	構成 比率	金額 ②	構成 比率	増 減 ①-②=③	増減率 ③/②	
営 業 費 用	人件費	74,484,992	6.7	71,965,692	6.0	2,519,300	3.5
	委託料	182,927,360	16.5	169,799,886	14.1	13,127,474	7.7
	修繕費	35,436,821	3.2	25,956,095	2.2	9,480,726	36.5
	動力費	63,822,949	5.8	57,054,910	4.7	6,768,039	11.9
	薬品費	2,573,200	0.2	2,143,060	0.2	430,140	20.1
	材料費	13,927	0.0	0	0.0	13,927	-
	補償金	0	0.0	0	0.0	0	-
	負担金	7,950,155	0.7	26,215,929	2.2	△ 18,265,774	△ 69.7
	減価償却費	624,476,621	56.3	727,306,112	60.5	△ 102,829,491	△ 14.1
	資産減耗費	0	0.0	0	0.0	0	-
	その他	34,610,047	3.1	15,759,811	1.3	18,850,236	119.6
小 計	1,026,296,072	92.5	1,096,201,495	91.1	△ 69,905,423	△ 6.4	
営 業 外 費 用	支払利息	69,113,815	6.2	77,100,235	6.4	△ 7,986,420	△ 10.4
	その他	14,349,577	1.3	16,069,126	1.3	△ 1,719,549	△ 10.7
	小 計	83,463,392	7.5	93,169,361	7.7	△ 9,705,969	△ 10.4
特 別 損 失	0	0.0	13,720,258	1.1	△ 13,720,258	△ 100.0	
予 備 費	0	0.0	0	0.0	0	-	
総 費 用	1,109,759,464	100.0	1,203,091,114	100.0	△ 93,331,650	△ 7.8	

営業費用は 1,026,296,072 円となっている。

営業外費用は 83,463,392 円となっている。

### (3) 損益

損益の状況は次表のとおりである。

#### 損益

(単位：円・% 消費税抜)

区 分		4年度 ①	3年度 ②	増減 ①-②=③	増減率 ③/②	
経常損益の部	営業損益	収益	196,907,393	200,119,535	△ 3,212,142	△ 1.6
		費用	1,026,296,072	1,096,201,495	△ 69,905,423	△ 6.4
		営業利益	△ 829,388,679	△ 896,081,960	66,693,281	7.4
	営業外損益	収益	937,677,258	1,044,909,066	△ 107,231,808	△ 10.3
		費用	83,463,392	93,169,361	△ 9,705,969	△ 10.4
		営業外利益	854,213,866	951,739,705	△ 97,525,839	△ 10.2
経常利益		24,825,187	55,657,745	△ 30,832,558	△ 55.4	
特別損益の部	利益	0	7,970,464	△ 7,970,464	△ 100.0	
	損失	0	13,720,258	△ 13,720,258	△ 100.0	
	特別利益	0	△ 5,749,794	5,749,794	100.0	
当 年 度 純 利 益		24,825,187	49,907,951	△ 25,082,764	△ 50.3	
前年度繰越利益剰余金		△ 120,675,431	△ 170,583,382	49,907,951	29.3	
その他処分利益剰余金変動額		0	0	0	-	
当年度未処分利益剰余金		△ 95,850,244	△ 120,675,431	24,825,187	20.6	

経常損益のうち営業利益は△829,388,679円で、営業外利益は854,213,866円となっており、経常利益は24,825,187円となっている。

当年度純利益は24,825,187円で、前年度繰越利益剰余金△120,675,431円と合わせた当年度未処分利益剰余金は△95,850,244円となっている。

#### (4) 経営分析

経営分析の結果は次表のとおりである。

区 分	4 年度	3 年度	備 考
総収支比率	102.24	104.15	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$
経常収支比率	102.24	104.68	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$
営業収支比率	19.19	18.26	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$

※ これらの比率は、いずれも100%を上回るほど経営状態が良好であるとされている。

収益と費用の総体的な関連を示す「総収支比率」は 102.24%、経常的な収益と費用の関連を示す「経常収支比率」は 102.24%、事業の収益性を示す「営業収支比率」は 19.19%となっている。

#### 4. 財政状態について

財政状態は次表のとおりである。

財政状態

(単位：円・%)

区 分	4年度		3年度		前年度比較		
	金額 ①	構成 比率	金額 ②	構成 比率	増 減 ①-②=③	増減率 ③/②	
固定 資産	有形固定資産	14,951,897,458	95.6	15,282,060,938	96.5	△ 330,163,480	△ 2.2
	無形固定資産	0	0.0	0	0.0	0	-
	計	14,951,897,458	95.6	15,282,060,938	96.5	△ 330,163,480	△ 2.2
流動資産		686,882,728	4.4	560,827,673	3.5	126,055,055	22.5
資産合計		15,638,780,186	100.0	15,842,888,611	100.0	△ 204,108,425	△ 1.3
負 債	固定負債	4,061,494,797	26.0	4,296,156,123	27.1	△ 234,661,326	△ 5.5
	流動負債	716,009,247	4.6	697,431,746	4.4	18,577,501	2.7
	繰延収益	8,386,076,954	53.6	8,668,838,741	54.7	△ 282,761,787	△ 3.3
負債合計		13,163,580,998	84.2	13,662,426,610	86.2	△ 498,845,612	△ 3.7
資本金		2,453,709,666	15.7	2,183,797,666	13.8	269,912,000	12.4
剰 余 金	資本剰余金	117,339,766	0.8	117,339,766	0.7	0	0.0
	利益剰余金	△ 95,850,244	△ 0.6	△ 120,675,431	△ 0.8	24,825,187	20.6
	計	21,489,522	0.1	△ 3,335,665	0.0	24,825,187	744.2
資本合計		2,475,199,188	15.8	2,180,462,001	13.8	294,737,187	13.5
負債・資本合計		15,638,780,186	100.0	15,842,888,611	100.0	△ 204,108,425	△ 1.3

##### (1) 資産

「固定資産」は14,951,897,458円、「流動資産」は686,882,728円で「資産合計」は15,638,780,186円となっている。

##### (2) 負債及び資本

###### 負債

「固定負債」は4,061,494,797円、「流動負債」は716,009,247円、「繰延収益」は8,386,076,954円で「負債合計」は13,163,580,998円となっている。



## 資本

「資本金」は 2,453,709,666 円、「剰余金」は 21,489,522 円で「資本合計」が 2,475,199,188 円となっている。

## 5. むすび

以上が、令和4年度西海市下水道事業について審査した概要である。

本市の下水道事業は、令和2年4月1日より地方公営企業法の財務規定等を適用し、公営企業会計へ移行している。

経営成績についてみると、営業収益が 196,907,393 円、営業外収益が 937,677,258 円、営業費用が 1,026,296,072 円、営業外費用が 83,463,392 円、当年度純利益が 24,825,187 円となっている。

キャッシュフローは投資活動、財務活動を含めたところでプラスになっており、企業経営上は資金的にも問題ないと言えるが、施設の統廃合や、不要施設の除却等を進め、固定資産の圧縮を図ることが重要である。

また、老朽管の更新や施設改修などのインフラ整備により適正な施設維持管理を図り、将来を見通した健全な事業運営が求められている。

今後も市民生活に欠かすことの出来ない下水処理の安定に努められたい。



